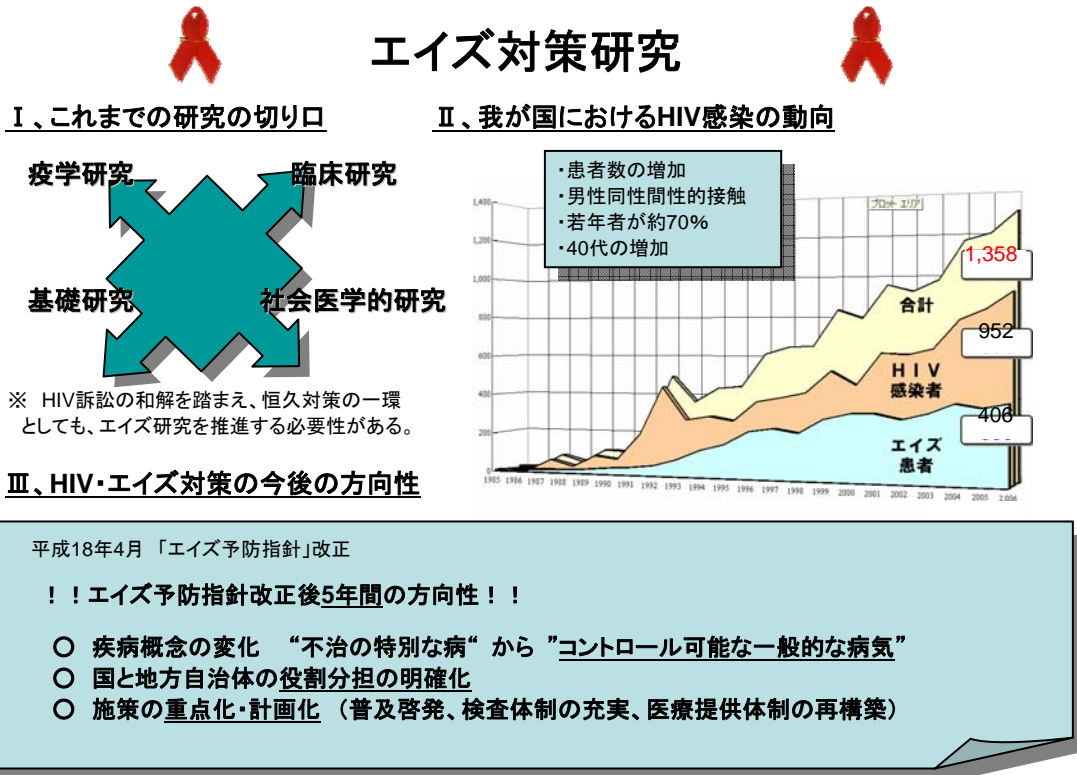
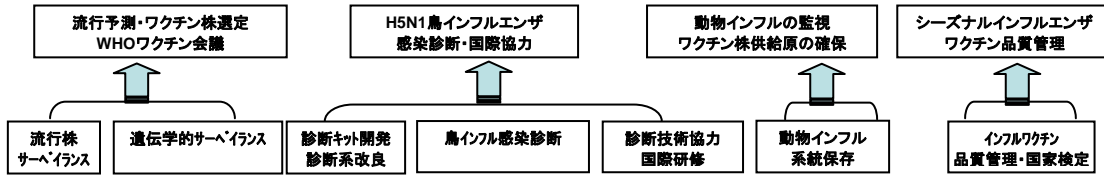


4. 参考（概要図）

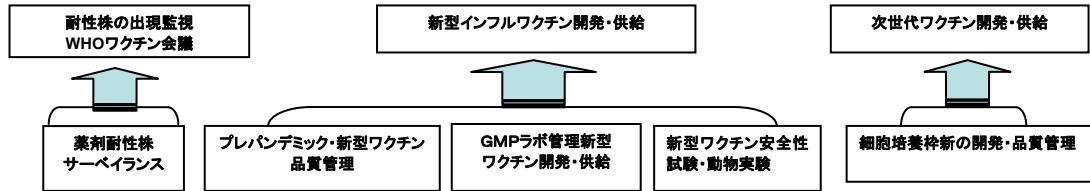


新型インフルエンザ対策・研究の充実強化

現行の対策・研究



新たに必要対策・研究



次世代ワクチン開発・供給

鶏卵を使用したワクチン製造からの脱却が必要(新型インフルエンザの流行により鶏卵の確保が困難となる恐れ)ウイルス変異に迅速に対応できるワクチンが必要

1)組織培養ワクチン用ウイルス株開発

組織培養ワクチン用ウイルス株を開発する。(鶏卵で増殖させたウイルスと組織細胞(MDCK細胞など)で増殖させたウイルスとは、その特性が異なることが指摘されており、組織培養ワクチン用として適切なウイルス株の開発が、これまでの取組とは別途に必要)

2)組織培養ワクチン用力価測定用標準品開発

(ウイルスの特性変化に応じて、ヒトでの抗原性評価のための力価測定系とその標準品の開発が必要)

バイオテロ対策に必要な研究

現状と課題

1. 基盤研究の不足
 - ①テロに使用される可能性のある新たな病原体への対応
 - ②検査方法の確立
 - ③新たな予防法・治療法の開発
 - ④除染方法の確立
2. 臨床診断と治療法が確立していない
3. 情報収集体制及び国内・外の施設間の連携体制が確立していない
4. 人材不足
5. 発生時対策の検討が十分に行われていない
 - ①被害予測
 - ②発生時のシミュレーション
6. 国民への情報提供・情報共有

必要な研究(新興再興感染症研究事業)

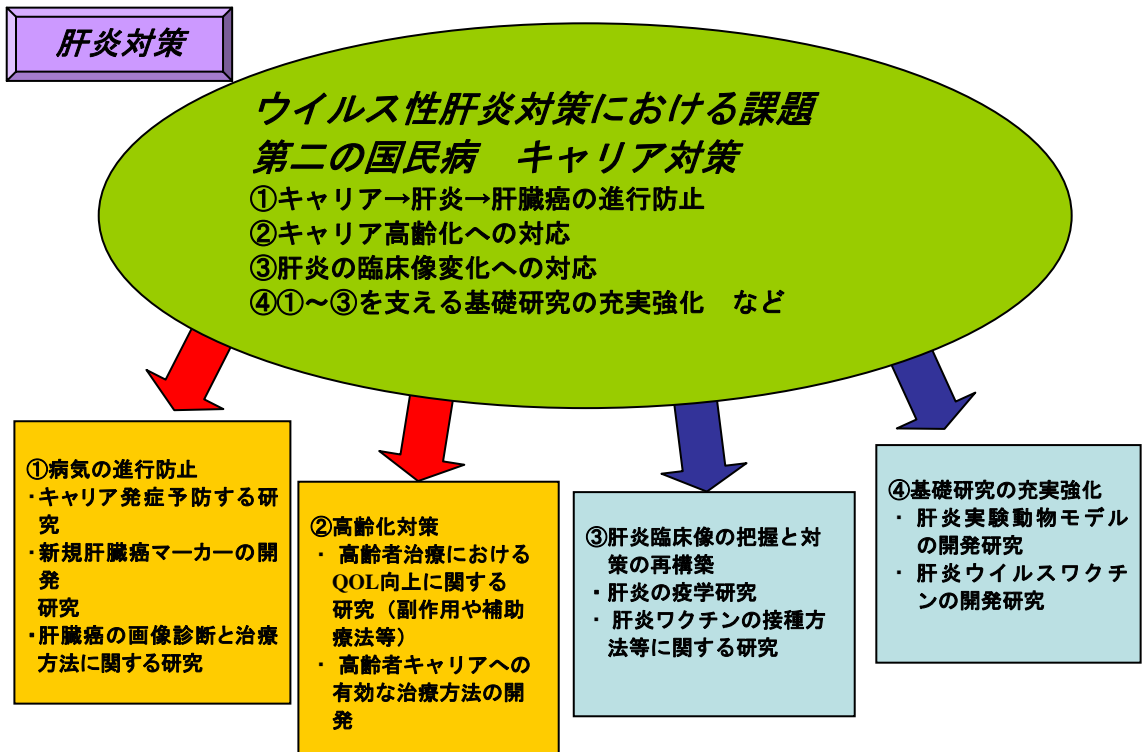
1. 基盤研究の充実
 - ①既知及びテロの可能性のある病原体の迅速診断検査法の開発
 - ②予防法・治療法の基礎研究
 - ・抗菌薬の迅速感受性検査法
 - ・ワクチン開発の基礎研究
 - ③効果的な除染方法(消毒剤等)の研究
 - ④テロに使用される可能性のある病原体(新興・再興)の特定と病原性の確認に関する基礎研究
2. 臨床診断と治療法の確立
 - ①臨床診断(何を疑うか)方法の確立
 - ②使用可能な抗菌剤のリストアップと使用方法の検討
 - ③使用可能な薬剤の抗菌活性の確認

必要な研究(健康安全対策総合研究事業等)

1. 情報収集体制及び国内・外の施設間の連携体制の確立
 - ①国内関係機関のネットワーク整備
 - ②海外の関係機関との連携強化
2. 人材不足
 - ①地方衛生研究所への技術の普及
 - ②医療従事者及び一時対応者に対する研修・講習
3. 発生時対策の検討
 - ①発生時のシミュレーションモデルの構築と被害予測に関する研究
 - ②発生時対応支援マニュアルの作成
4. 国民への情報提供と啓発方法の検討

期待される効果

- ・被害拡大防止
- ・緊急対応の実現
- ・国民の不安軽減
- ・模倣事件の抑止(予防)



(10) こころの健康科学研究

分野名	疾病・障害対策研究分野
事業名	こころの健康科学研究事業
主管部局（課室）	社会・援護局障害保健福祉部企画課 （執行機関 国立精神・神経センター）
運営体制	精神分野→障害保健福祉部 精神・障害保健課 神経分野→健康局 疾病対策課

関連する「第3期科学技術基本計画」における理念と政策目標（大目標、中目標）

理念	健康と安全を守る
大目標	生涯はつらつ生活—子どもから高齢者まで健康な日本を実現
中目標	国民を悩ます病の克服

1. 事業の概要

(1) 第3期科学技術基本計画・分野別推進戦略との関係

重要な研究開発課題	こころの発達と意志伝達機構並びにそれらの障害の解明
研究開発目標	○2010年までに、精神疾患、神経・筋疾患について、細胞治療、創薬等を活用した治療法の開発に資する、病態の詳細や、原因遺伝子といった疾患の原理を理解する。